

# 先生方からのメッセージ

4月24日(金)

担当	先生からのメッセージ
はやま学級 担任	<p>臨時休業は2ヶ月に届こうとしています。船迫中生は、どんな風に過ごしているでしょうか。フランスの作家<a href="#">ジュール・ヴェルヌ</a>の小説に『二年間の休暇』があります。オークランド（ニュージーランドの旧首都）で学校生活を送っていた、様々な国、様々な年齢の15人の少年たちが無人島に漂着し、島の探索やリーダーの選出を経て、小さく有効な社会をつくり上げ、無人島での共同生活を送るストーリーです。無事に元の生活に帰還するまで、15人は実に2年の歳月を無人島で過ごしました。世界中で読み継がれているこの物語は、日本では『<a href="#">十五少年漂流記</a>』という題でも出版されています。ときに反目し合いながらも、力をあわせて困難を乗り越えていく少年たちの姿は、中学生の皆さんに重なります。</p> <p>今できることを、ただひたすらに一生懸命にやること。様々な考えや感じ方の中から、まずは一つ選んで進む方向を決めていくこと。未来の自分をつくるために、現在の自分は在るはずです。振り返ったときに、「あの時間は必要だった。」と言える自分でいられるように。</p>
ひまわり 学級 担任	<p>みなさん「早寝・早起き・朝ご飯」してますか？時間がたっぷりある今日この頃、なにをしているのでしょうか？きっとゲームやLINEなどで時間を潰しているのが目に見えるようです。そして親に注意されると、きっとこんな言い訳を・・・「だって何勉強したらいいか分からないんだもん・・・。」</p> <p>高校生歴代最速の163kmを計測し、大船渡高校からドラフト1位で千葉ロッテマリーンズに入団した佐々木朗希投手が「自分は田舎の公立高校出身で設備も私立のように立派でなく、練習試合も数をこなせるわけでもなく野球環境としては恵まれていませんでした。でも、そのおかげで『自分で考えて工夫する』という習慣ができました。」と言っていました。</p> <p>そうです。「自分で考え」「自分で工夫する」ところに進歩があるのです。「分からない」とさじを投げてしまうのではなく、何でもいから「自分で実行」です。始めることからなにかが見えてきます。時間がたっぷりあるこの時期に挑戦してみましょう。</p>

# 読書のすすめ

担当	メッセージ（読書の良さ・お勧めの本など）
支援員	<p>今まで読んだ本の中で、「これを読んで！」という、おすすめの本はありますか？おもしろかった本・心に残った本を3冊といわれたら、何を挙げますか？</p> <p>私はその中の1冊に「君たちはどう生きるか」を挙げたいと思います。20代で読んで、衝撃を受けた本です。年代を問わず、言葉が心にしみてくる本だと思っています。・・・漫画でも出版されています。</p> <p>いろいろな本を読んで、私のベストスリーといえる本を考えてみるのは、どうでしょうか？</p>